

### 外国に来ました!

2007.09.05

日本に来てから初めての書き込みです。思うところは多いのですが、多くの同級生が日本語を使って文章を書いています。私もそうしたいのですがまだよく日本語が使いません。ですからまずは日本語をしっかりと勉強すること！東京はとてにぎやかで、近代的で、北京ととても似ています。特にいまのところ困った事などあるわけではないのですが、やはりホームシックです。1年という時間はとても長いような、でもあっという間かもしれません。1年後はどうなっているか、頭の中で想像しています。一生懸命がんばれば、現実も空想しているようにすばらしいものになるでしょうか？今日、ここから、お父さんとお母さん、私はとても元気ですよ!

## 頑張り

2007.09.14

今日は大阪に到着した後で、初めてここで日記を書きます。おくれた！実は、最近、私は大変忙しかった。学校でも、家でも、そろそろ新しいことがあった。家族とクラスメートは本当優しい人です。でも、学校の授業は全部日本語で教えるから、大変だった。生活にもいろいろな違うところがある。私は今、ちゃんと頑張っています。これは日本語で投稿されたものです

今日は中国の祭り、瀋陽の家族たち、お元気ですか。

2007.09.25

今日は中国の“中秋節”です。中国語に懐かしいですね。今は特に中国語で話したいです。けれども、学校のコンピュータを使っていますから、日本語だけ受けられます。とても残念です。日本語で日記を書くことは私にとって、まだなれていません。だから、日記も少なく書いています。もうすぐ私もテストがあります。勉強しなければなりません。母と父と親戚たち、今、お元気ですか日本語で書いた私の日記は分かれますか。

これは日本語で投稿されたものです

## 三ヶ月一会（1）

2007.12.11

皆さん、久しぶりです。本当に、長い時間たちやったよね。三ヶ月の時間も今思い出したら、まるで一瞬のようなんです。私自分はこの間に、あんまりここで日記書いてなかったけど、ずっと皆の日記を読んでいましたよ。皆、元気そうだよ。日本の茶道としては“一期一会”があります。それで、わたしもこの一言を借りて、“三ヶ月一会”をテーマとして、今までの三ヶ月の留学生生活を述べます。（すいませんけど、学校のパソコンをつかっていますから、もう時間なくなっちゃった。次の内容は今度入力します。^-^）

これは日本語で投稿されたものです

### why,why ,I cannot understand

2007.12.12

昨日、新しい日記を入力したばかりだけど、何で今日見に来たら、なんでもないの？まさか、もう一度更新するの？だって、昨日一時間もかかっちゃったって！ええ、しょうがないわ....^^^

これは日本語で投稿されたものです

## また1年

2008.02.11

【ふとネットに繋いでみると、前回の日記がすでに二ヶ月も前のもので、しかも未完成であったことに気づいた。三ヶ月に一回と硬く決めていたのに半年に一回になってしまっ、本当に恥ずかしい。あの時はちょうど中間テストが迫っていて、私はテストが終わってから書き終えようと考えた。結果、テストが終わると終わったことで頭がいっぱいになり、嬉しさのあまりこの事を忘れてしまっていた。お恥ずかしい。今回しっかりと半年の総括をすることでお詫びに代えたいと思います。】正月初三、瑞雪が降りしきり、窓の外は銀色の装い、室内は春の如き温かさ。私はパソコンの前に座り、延々と続く千万キロメートルの光ケーブルを隔て、千山万水を隔て、太平洋の万の波を隔て、小さなスクリーンに映る賑わいを静かに傍観している。そう、今日は中国の正月初三。それはまさに中国で最も御目出度い日。深紅の爆竹、深紅の服、深紅の春聯、そして子供達の真っ赤な頬。この季節にはいつも人々の目の中に映る光景、まるで今私の目の前にある中国語サイトの内容のように。だけどスクリーンの中の紅がどんなにまばゆく、どんなに光り輝いていても、手を伸ばし触れようとすれば、それはパソコンの陰に隠れた遥かなる距離を私に再認識させるだけだ。振り返れば、窓の外は一面の白。白い屋根、白い道、ガチョウの羽のように真っ白な大雪。大阪は今日大雪が降った。私の故郷ととても良く似た雪が。指の爪ほどの大きさの雪片が、朝からずっとずっと舞い落ちている。大阪の雪はとても珍しいと言う。だけど今日、この特別な日に、この特別な雪がだんだんと私にこの異郷の南方都市に懐かしさを覚えさせる。最近私はよく王維のあの名句を思い出す——「佳節に逢う毎に親しい人への思いが増す」。いまの気持ちにぴったりくる。まるで二ヶ月前の中秋節に、月を見ながら思い出した蘇軾の『明月几时有』や、至るところで転用されていた『但愿人长久，千里共婵娟』のように。時には自分がとても強情だと認識せざるを得ない。悲しい思いをする度に自分を卑下して、注意を他に逸らすようにするのだけど、次に何かあればまた思い出してしまう。そしてまた自分を卑下し、その後また同じことを繰り返す。私はいつも無意識のうちに感情を煽るようなことをしているようだ。例えば私が今書いた文章のように。実際、私はそんなに孤独だとか、寂しいだとか思っていない。逆に、冷静な時にはいつも、今の自分のような状況で何が不満なことがあるのかと考えている。私はよく自分に言い聞かす。どうってことない、たった一年じゃないか、ただ国を出ただけ、ただ祭日に家にいないだけ。自分をそんなに可哀想に仕立てる必要がある？ そんな必要ない。それに、私は今の生活に満足していないの？ 違う、中国では、大学に入る前に今の私のように自由気ままに過ごせる人なんてほんの一握り。じゃあ私には友達や思いやってくれる人がいないの？ それも違う。外国人だから、皆多かれ少なかれ特別に扱ってくれる。大事にしてくれる。なら、ここ数日のこの変な気持ちはいったい何？ 私はただ、少しホームシックなだけ。ここ数日、何をしても、春節、春節、この二文字が頭の中をぐるぐる回っている。以前は、祭日を祝うも祝わないもたいして変わらないと思っていた。祝った所で面白くも無い。特に親しくも無い親戚と集まらなければならず、なのに逆に盛り上がったりとかして。年越しの餃子だって、家族に無理やり勧められて、一口二口食べ、食欲がないって怒鳴ってやっと解放される。今は？ 今はテレビで中華街のドラや太鼓の音を聞いて、必死に心の奥の方から湧き上がってくる微妙な感情を押さえつけている。傍らのテレビでは中華街の春節特番を引き続き放送しているのに、私の感情は少しずつ抽象的になってきた。テレビはまるでただの額縁に変わったようだ。私はその絵の外で、絵の中の人々が騒いでいるのを見ている。以前のことを思い出す。私はいつも騒々しい絵の中で、絵の外の人々がのんびり過ごしているのを羨ましく思っていた。絵の中で、絵の外で、行ったり来たり、あくせくして、また一年。

### 家に着いた！オリンピックだ！

2008.08.08

一年経って、家に帰った！日本から帰ってもうすぐ二週間だ。過ぎ去った一年を思うと、夢みたいだ。日本で勉強してた経験は国だけでなく、違ってる文化と心を跨いだ。日本の先生と友達のことが懐かしい。そして、ホストファミリーも。一年の生活で、ホストファミリーを第二の家とした。でも、人生には残念なことが必ずある。日本にいた時中国を思ったように、今は中国にいて日本にいるみなさんを思ってる。今日は北京オリンピックの開会式で、家族と約束しておいた。友達と親戚と食事をしながら、テレビの生放送を見るつもりだ。これは中国の長年の努力で、すべての中国人の夢なんだ。すぐ実現するなんて、信じられないぐらいだ。みなさんも開会式を見なくてはね！最後、基金の先生たちにお礼を言います。その一年の間、誠にお世話になりました。ほんとうにありがとうございます。先生たちのことをずっと覚えてるから、よく連絡しましょうね！残念なことは、日本にいた時のように日本語で感謝の意を表したいですが、とてもアンラッキーで、日本語が入力できない。それは日本で中国語が入力できなかったことと同じだ～とにかく、基金の優しい橋本先生、入矢先生、山崎先生、清水先生、、、また隣の兄ちゃんのように可愛い、このサイトを管理してくれる先生、ありがとうございます。